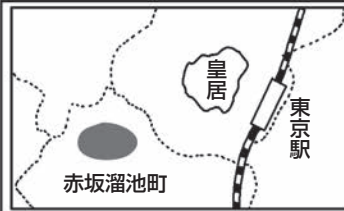


# 第3章 逆境を乗り越えて

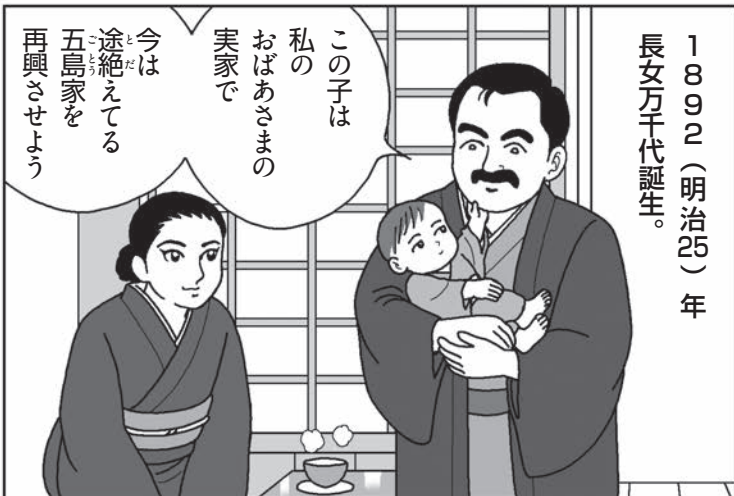


1889 (明治22) 年  
たみのすけ  
民之助は帰国する。

翌1890(明治23)年  
東京・赤坂区溜池町



1892 (明治25) 年  
長女万千代誕生。



万千代は1912 (明治45) 年農商務省官僚の小林慶太と結婚。小林は、以後五島姓を名乗り……、



後に東急の社長・会長になる。

その長男五島昇は東急電鉄社長などを務めた実業家として知られている。



1893 (明治26) 年、長男民十郎誕生。

この子には権十郎の「十」、そして私の「民」の字を入れた名前をつけよう



1895 (明治28) 年、次男権九郎誕生



この子は  
私の父  
権十郎から  
名前を  
もらおう



長男の民十郎は  
後に  
洋画界で活躍し、  
日本のモダンイズムの  
先駆者となった。



次男の権九郎は  
ドイツで先進的な  
建築技術を学び  
1932（昭和7）年に  
久米建築事務所  
（現・久米設計）を  
創設した。



あつという間に  
家族が  
増えましたね

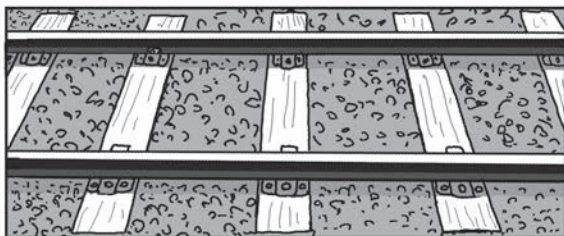
民之助は  
生涯に  
たくさん子どもを  
もうけた。  
家族を思う気持ちは  
人一倍のものだった。



1896（明治29）年

山陽鉄道の  
2工区を  
受注した





全社  
一丸となって  
励めよ

同年、日本統治下の  
台湾で  
鉄道を敷く工事が  
久米組に命じられる。

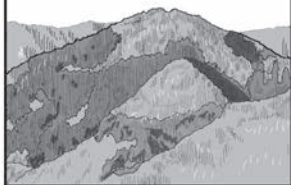
台湾

大甲溪鉄橋



民之助は台湾に  
久米工業所を設立し  
数々の難工事を  
成功させた。

会社が土木工事で  
拡大していくなか  
民之助は  
思い出深い  
故郷を忘れる  
ことはなかった。

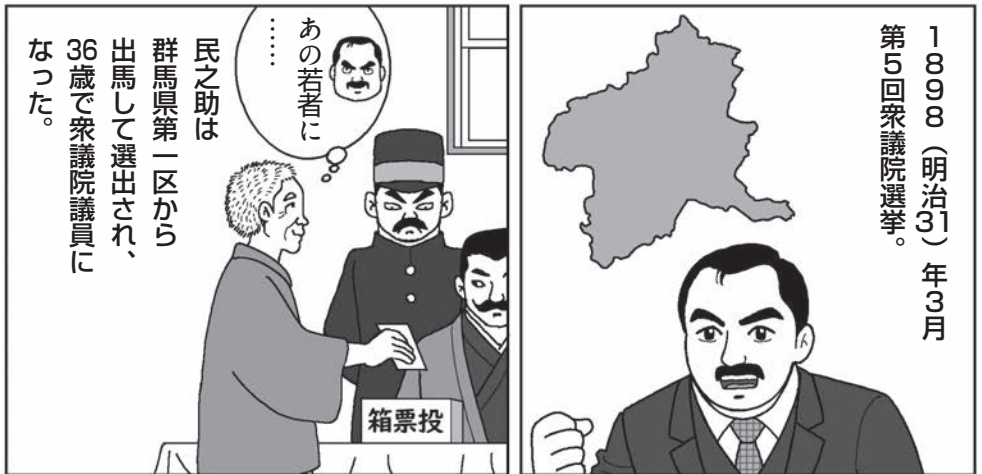


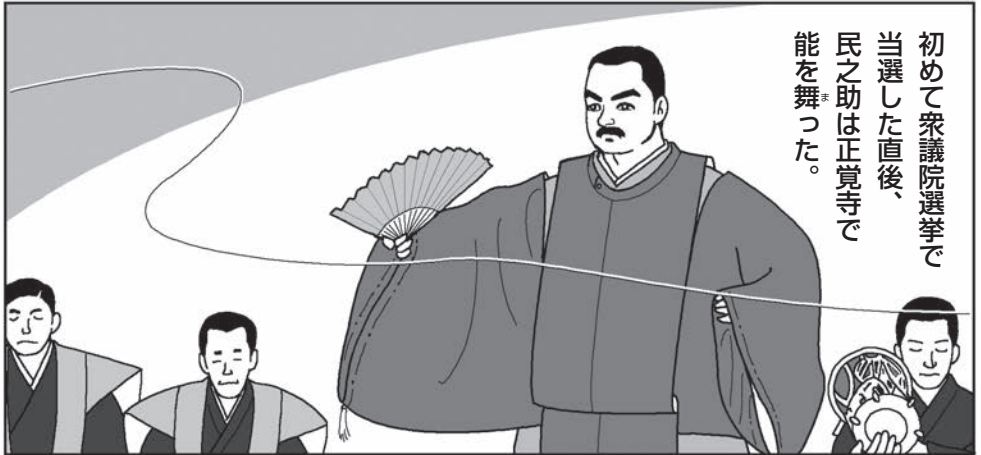
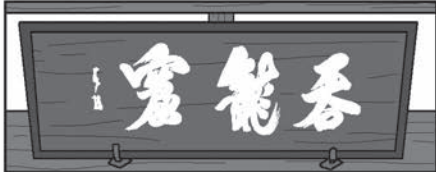
沼田



その節は  
大変お世話に  
なりました



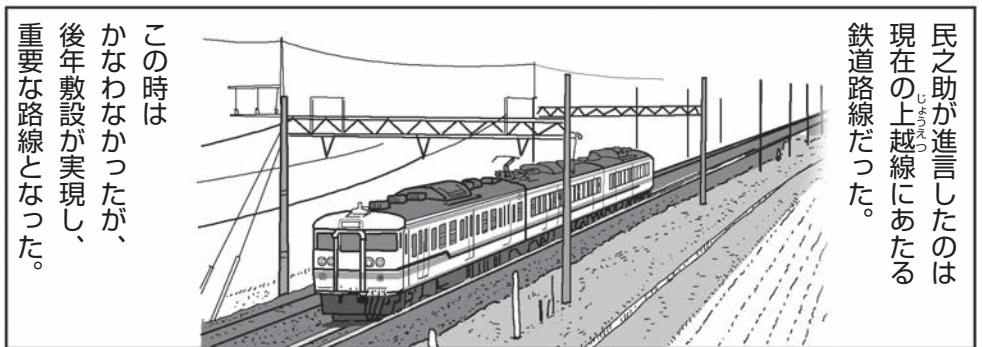
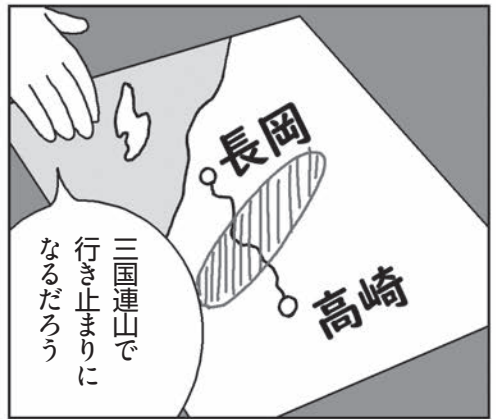














タバコ・葉巻の本場  
フィリピンのマニラから  
数人の  
技師・職工を招いた。

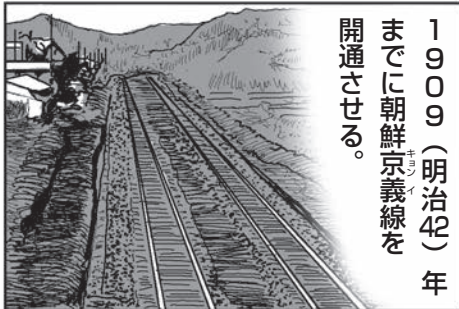


だが、  
2年後にタバコは  
国の事業に  
なったため、  
民之助の事業は  
大蔵省に  
引き継がれた。

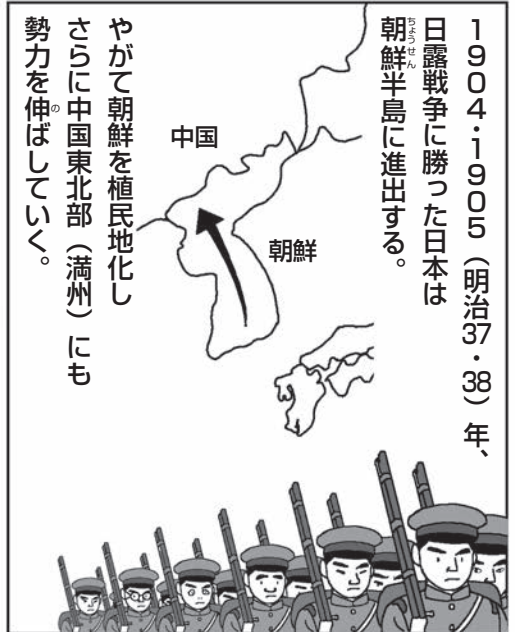


1904・1905 (明治37・38) 年、  
日露戦争に勝った日本は  
朝鮮半島に進出する。

やがて朝鮮を植民地化し  
さらに中国東北部 (満州) にも  
勢力を伸ばしていく。



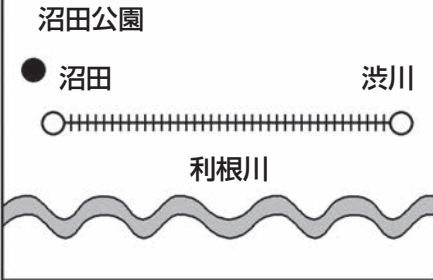
1909 (明治42) 年  
までに朝鮮京義線を  
開通させる。



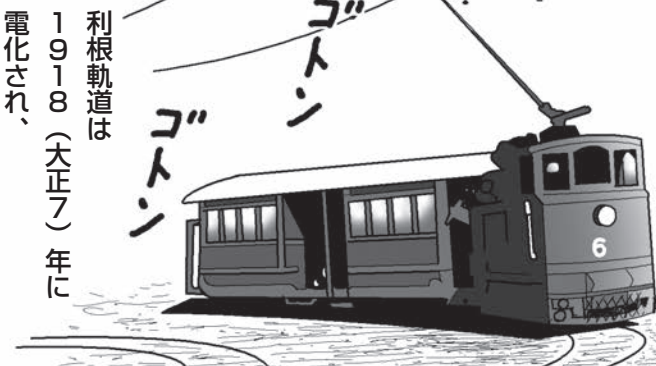
故郷の沼田にも鉄道の利便を図りたいものだ



民之助を中心に計画された鉄道は1911（明治44）年、渋川ー沼田間の21・3kmを結ぶ馬車軌道として開通した。



これが利根軌道である。



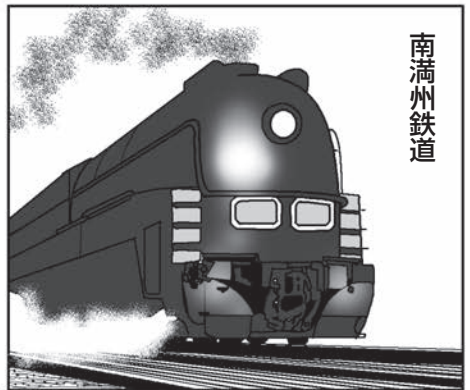
利根軌道は1918（大正7）年に電化され、沼田の人々や貨物を運んだ。

とうとう沼田にも電車が来たぞ

いい時代になったもんだ



民之助は、土木（道路、鉄道、電力）を通じて地域を開発し発展させた。それは、晩年の金剛山の開発に通じていく。

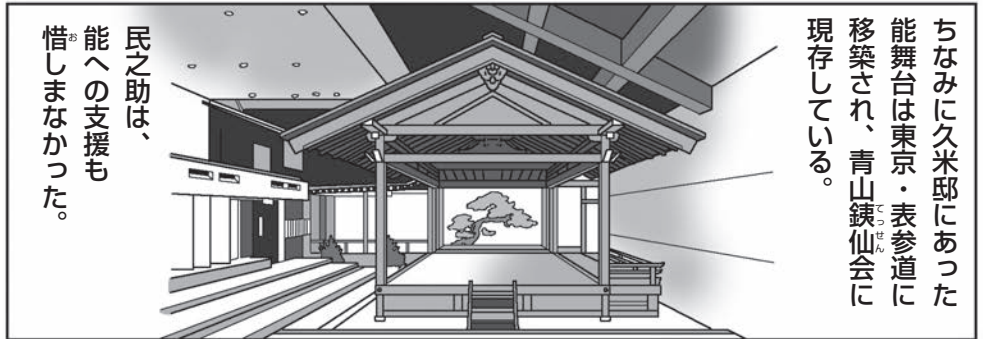




民之助は  
能好きが高じて  
邸宅内に能楽堂を  
構えるほどだった。

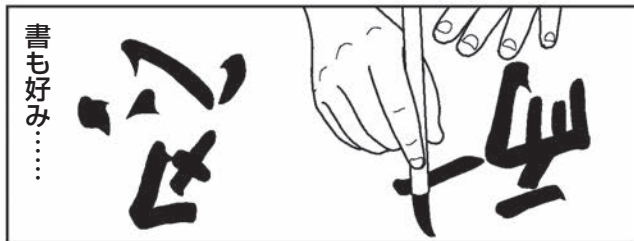


ご謙遜を



ちなみに久米邸にあつた  
能舞台は東京・表参道に  
移築され、青山鏡仙会に  
現存している。

民之助は、  
能への支援も  
惜しまなかつた。



書も好み……



仲が良くて  
何よりだ

お出かけか……



先生

どうかな？

どこかに  
飾りたい  
作品  
ですね

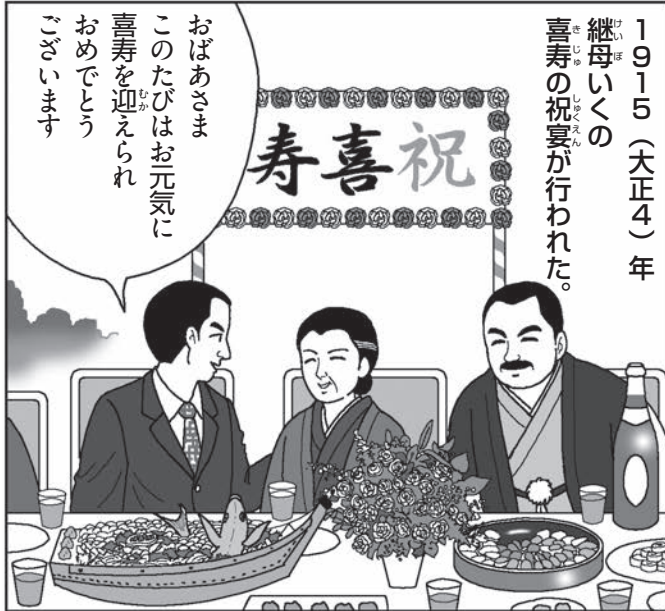
銅像作者

プロローグ見てね



人としての  
徳を  
積みた  
い

さらに仏教に  
帰依し、  
心の修行のため  
托鉢行脚しても  
いる。



1915 (大正4) 年  
継母いくの  
喜寿の祝宴が行われた。

おばあさま  
このたびはお元気に  
喜寿を迎えられ  
おめでとうございます  
ごちそう



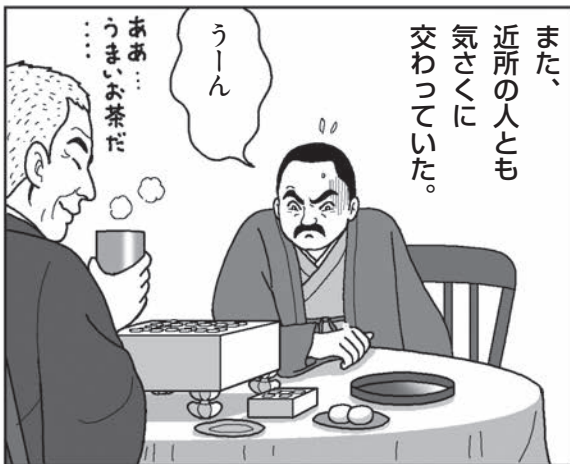
いい子どもや  
孫に恵まれて  
私は幸せですよ

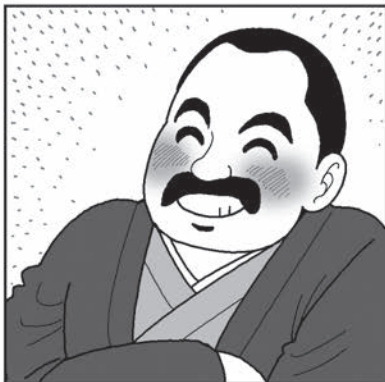
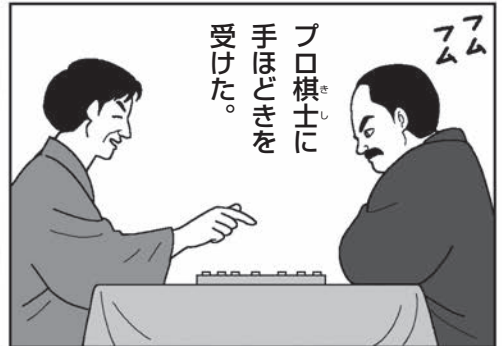


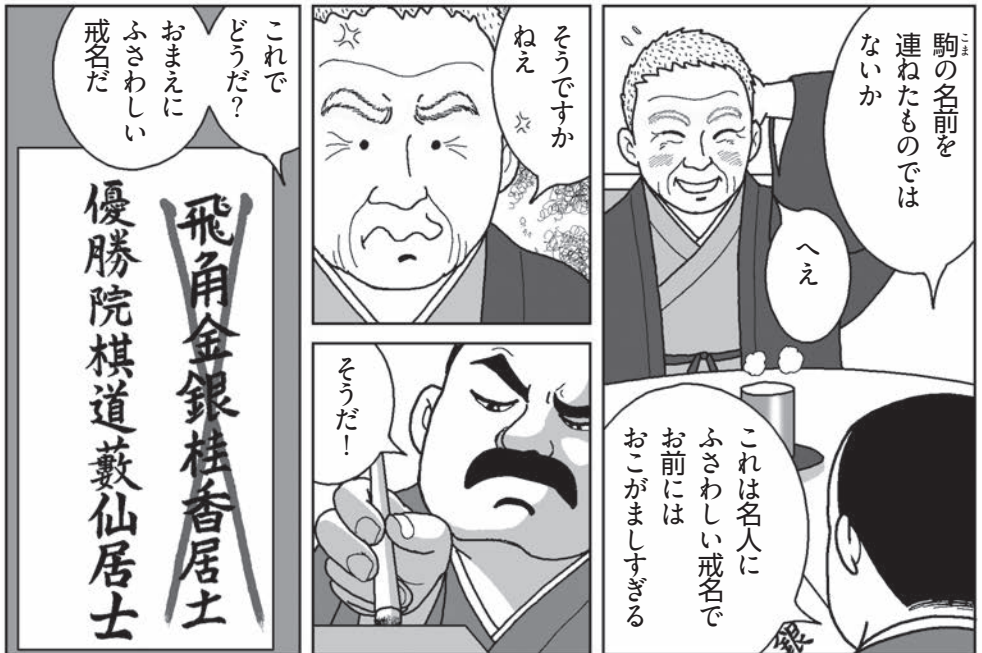
ありがとう  
権九郎さん

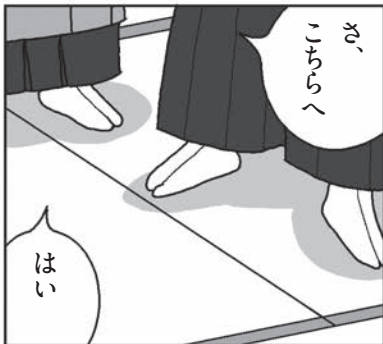
いつまでも  
長生きして  
くださいね

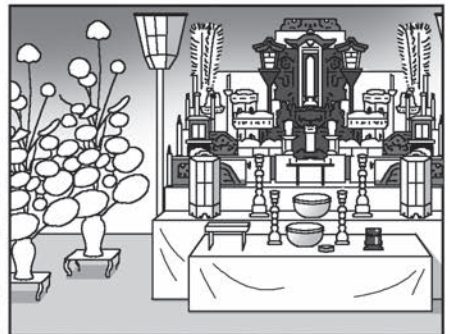
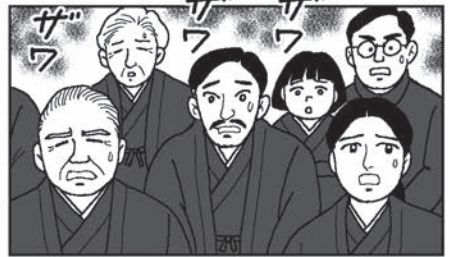


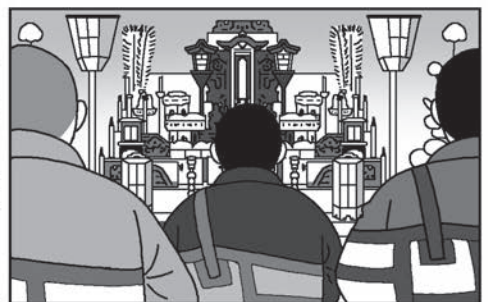
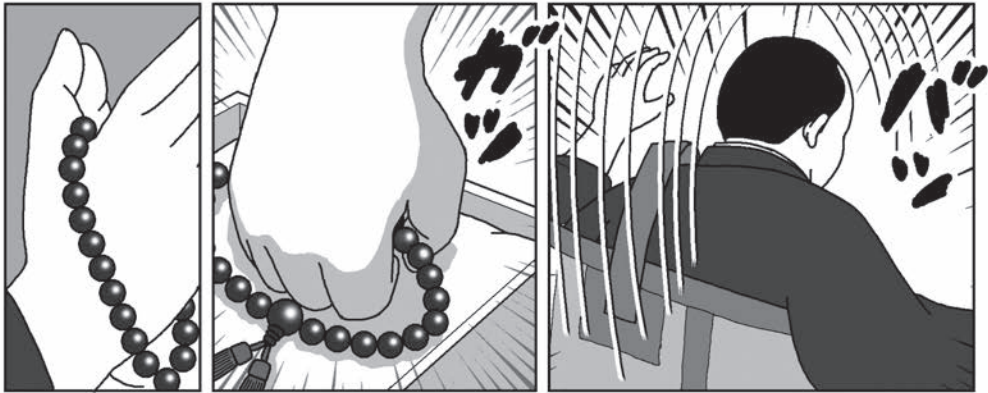










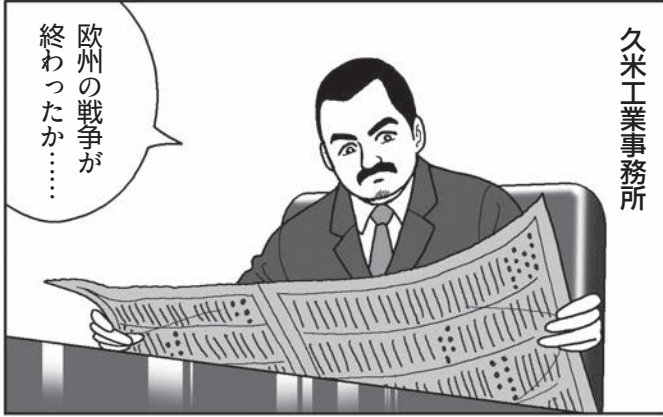


1918  
(大正7)年、  
津和野線の  
鉄道工事に着工する。



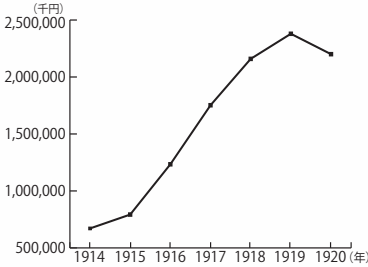
久米工業事務所

欧州の戦争が  
終わったか……



1914 (大正3)年から  
続いていた第一次世界  
大戦が終わった。

日本の貿易輸出入額



この戦争で日本は  
戦場にならず  
好景が続いていた。

しかし、戦争が終わって  
しばらくすると

ヨーロッパの産業が復興し  
日本の景気は悪化、  
物価が上がった。



社長  
津和野線の工事  
ですが、

物価が  
上がりすぎて  
請け負った  
金額では赤字に  
なっています

しかし、  
工事の中断や  
手抜きは  
国の損失になる





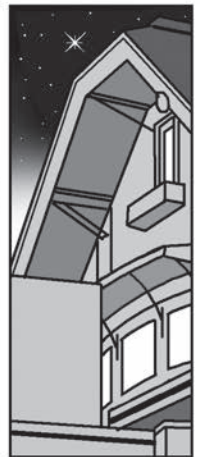
決して  
そのような  
ことが  
あつては  
ならぬ

では  
どうしたら  
……



私が  
なんとか  
しよう

民之助は不足分を  
私財をなげうって補った。  
事業に利益を  
求めるだけでない  
民之助の心情が  
うかがえる。



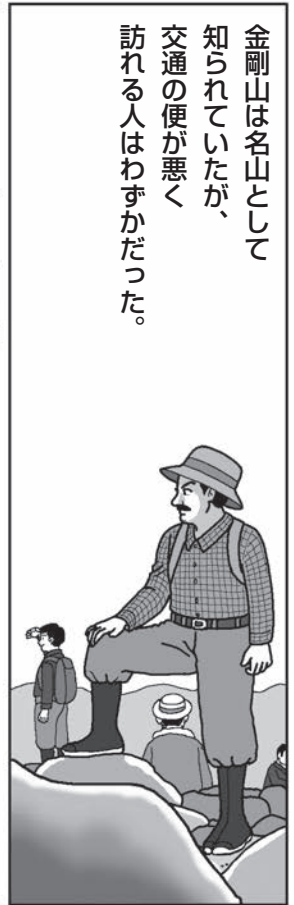
よいながめで  
名高い  
金剛山だが  
なんと不便な  
ところで  
あることか

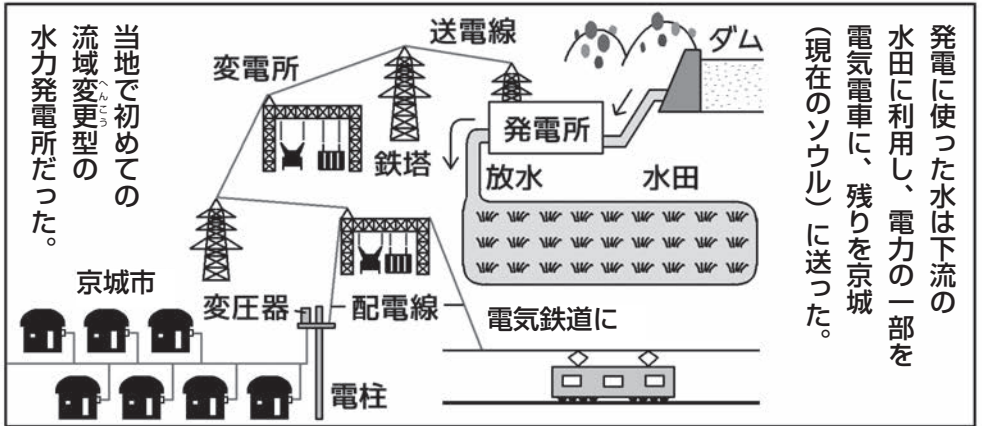
はあ  
はあ  
はあ



この年、  
民之助は  
朝鮮の  
金剛山を  
視察した。

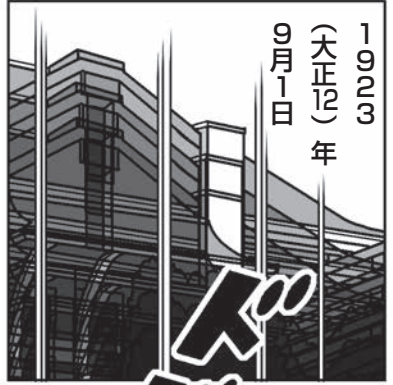






※民之助は10年余り暮らした邸を紀州徳川家の頼倫侯に譲る前に、「別離の宴」を開いた。

1923  
(大正12)年  
9月1日



これは  
大きいぞ



関東地方を  
大地震が襲った。  
関東大震災  
である。

東京・横浜は  
大きな被害を  
受け、多数の  
死傷者が発生  
した。



その中には、**横浜**の  
ホテルに滞在していた  
長男で画家の  
民十郎もいた。



民十郎……

子どもに  
先立たれた  
民之助の心中は  
察するに  
余りある。



不孝者め  
……